

第26回教育改革シンポジウム

新しい入試を超えてくる学生とは？ —学生・生徒の“学び”の高大接続を考える

昨年の教育改革シンポジウムでは、2021年度入学生に適用される大学入試改革に向けて、入試をテーマに高大接続を考えました。今年は、その新しい大学入試を超えて入学してくる学生は、どのような学びを経てきたのか、それは大学の学びにどのように活かされ、接続していく可能性があるのかとの観点から、高大接続を考えてみたいと思います。

今回は、講師に、関西学院大学アドミッションオフィサーで学長特命の尾木様をお招きし、新しい大学入試とともに多くの高等学校に利用が広がる可能性のあるJapan e-Portfolioについて、ご講演いただこうと思います。現在、同大学は、文科省の大学入学選抜改革推進委託事業の5分野の内の「主体性等」分野の代表大学を務めておられ、学力の3要素の1つとされる「主体性等」のより適切な評価のための各種取り組みを進めておられます。その一環として、生徒の主体的学習活動の見える化のツールの一つである、Japan e-Portfolioの開発も進められています。尾木様には、高校生の主体的学びとその見える化を促進するJapan e-Portfolioの概要と、その活用事例や可能性について、お話をいただく予定です。

その後、本学での学びの見える化や学生の主体的・能動的学習活動推進のための取り組みについて、コメンテーターから紹介を行った上で、学生・生徒の主体的“学び”の高大接続の可能性について、質疑や議論を行いたいと思います。

本学では、一昨年度に本学が採択された、文部科学省大学教育再生加速プログラム(AP事業)を契機として、学生の学びの成果の見える化と学習促進・支援の取り組みを、従来以上に積極的に進めています。学生の学修成果の質保証を目指して、学修成果の見える化ツール:OCU指標の開発や、学生たちの能動的で主体的な授業内外の学習活動を促進のためのOCUラーニングセンター(学修支援推進室)の立ち上げを行いました。そして、そのラーニングセンターでは、数学・英語の学習相談・支援を行っており、また、OCU指標も使った学習相談を始めようとしています。また、博士研究員やTA・SAの学生らにも積極的に関わってもらい、多様な教材開発・各種のセミナー・交流企画等も行っています。

尾木様とはもとより、学内外からの参加者の皆さまと、学生・生徒の“学び”の高大接続についての、議論を深め、考えてみたいと思っております。ご多忙中かと存じますが、是非よろしくご参集いただければと存じます。

開催日時

2018年

9月7日(金)

13:00~15:30

場所

大阪市立大学 杉本キャンパス
学術情報総合センター
10階会議室

講演題目

「高校生の主体的学びと
その見える化を促進するJapan e-Portfolio」

講師

尾木 義久

関西学院大学 アドミッションオフィサー
文部科学省大学入学選抜改革推進委託事業
(主体性等分野)学長特命

コメンテーター: 西垣 順子(大学教育研究センター・准教授)

企画・司会: 飯吉 弘子(大学教育研究センター教授・学修支援推進室副室長)

お申込み・お問い合わせ

大阪市立大学 大学教育研究センター

E-mail: center@rdhe.osaka-cu.ac.jp Fax: 06-6605-2137

※当日参加も歓迎いたしますが、9月5日(水)までに、お名前・ご所属・ご連絡先をご連絡いただくと助かります。